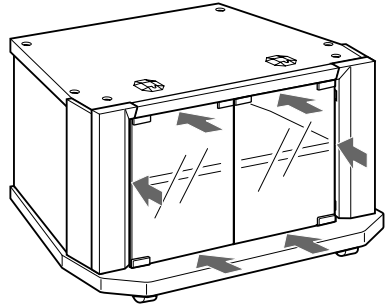


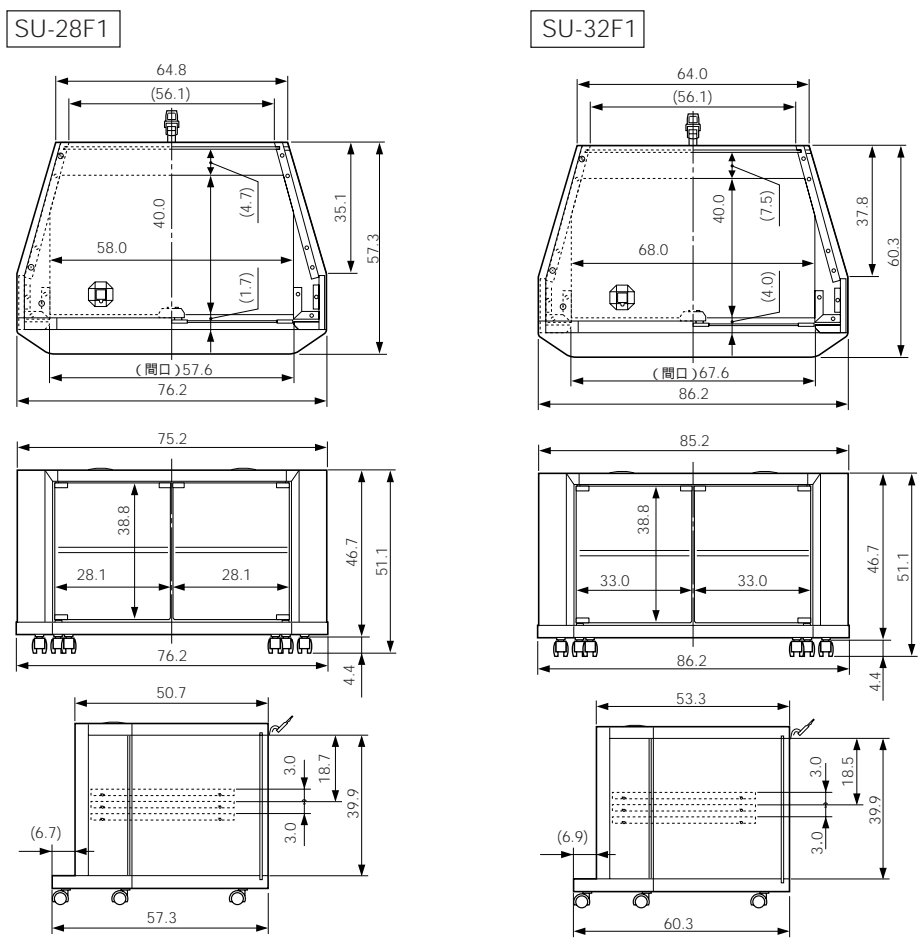
- 組み立てるときや、ガラス扉の開閉時に、扉の隙間(図の矢印の部分)に指などはさまないよう注意してください。
- 設置場所について
設置場所によってはスタンドの変形や傾きが生じることがありますので下記のことをお守りください。
 堅くて平坦な床面への設置
 畳の上に置く場合は板など堅い物を敷く
 直射日光が当たる場所や、暖房器具のそばに置かない
 高温多湿の場所や屋外に置かない



- テレビを載せたまま移動するときは、テレビの落下を防ぐためスタンド部分を押すか、スタンドごと持ち上げるようにして移動してください。
- 加熱した鍋、湯沸し等、熱いものを直接スタンドに置かないでください。熱により変色、変形することがあります。
- 美しい状態でお使いいただくためときどき柔らかい布で、から拭きしてください。汚れがひどいときは食器用洗剤を5~6倍に薄め、柔らかい布に含ませて軽く拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの化学薬品はスタンドの仕上げを傷めることがありますので、使わないでください。

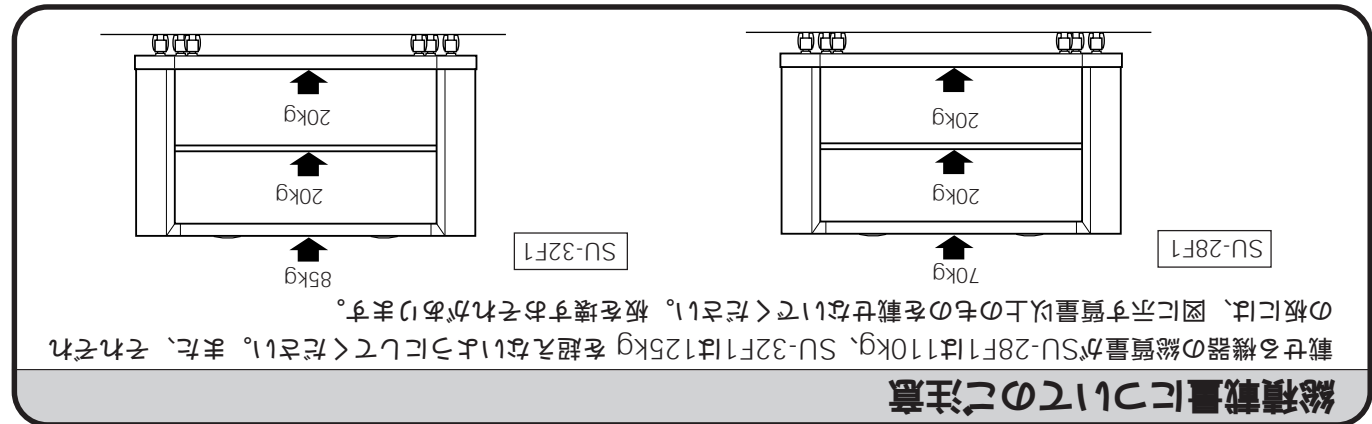
主な仕様

単位: cm
 質量: SU-28F1: 23.6kg
 SU-32F1: 26kg



本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35
 お問い合わせはお客様ご相談センターへ
 東京(03)5448-3311 名古屋(052)232-2611 大阪(06)539-5111



テレビを固定すること
 固定させないと、テレビが落ちたり、倒れたりしてけがの原因となること
 があります。

載せる機器の総質量は、指定の質量を超えないようにする
 指定の質量を超えると、板が割れたりくぼんだりして、テレビ等を壊す恐れ
 があります。

組み立ては、組み立て手順に従ってしっかりと組み立てる
 本がゆるんでいるり抜けていますと、スタンプが歪み、テレビが転倒
 し、けがの原因となることがあります。特に裏板はスタンプの歪み防止の
 ため必ず取り付けてください。

このスタンプは指定のテレビ専用です
 指定外のテレビや重い物を載せると、すべて落ちたり、壊れたりして
 けがの原因となることがあります。

踏み台にしない
 倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

ガラス扉に強い衝撃を与えない
 スタンプには強化処理を施したガラスを使用していますが、絶対割れない
 わけではありません。割れますと、破片が飛び散りけがの原因となります
 ので下記のことをお守りください。
 ・物をぶつける、扉を開けたままぶつかるなど、強い衝撃を与えない。
 ・鋭利な物で傷をつけたり、ガラス面を突いたりしない。

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家具に損害を与えたりすることがあります。

テレビスタンド

SU-28F1/32F1

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

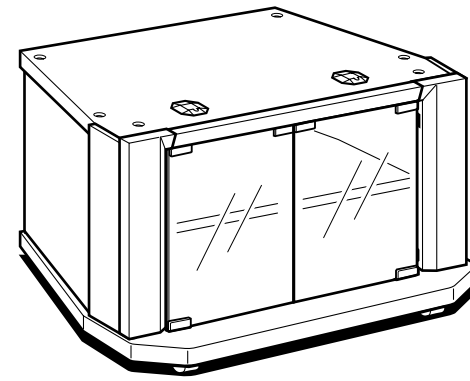
警告 安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
 お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

このテレビスタンドはソニーのカラーテレビを上に乗せ、棚板にはビデオデッキやビデオディスクプレーヤーなどを収納するように設計されています。

対応テレビ

	ハイビジョンテレビ	ワイドテレビ	テレビ
SU-28F1	KW-28HDF7	KV-28SF1 KV-28SF3 KV-28SF5 KV-28SF7M	KV-29SF1
SU-32F1	KW-32HDF9	KV-32SF1 KV-32SF7 KV-32SF9	



Sony Corporation © 1997 Printed in Japan

部品表

名称	数量	
天板	1	
底板	1	
後側板	2	
前側板	2	
支柱	2	
棚板	1	
裏板	1	
フロントパネル(右)	1	
フロントパネル(左)	1	
ガラス扉	2	
キャスター	SU-28F1: 4 SU-32F1: 6	
部品袋	ガイドプレート	2
	マグネットキャッチャー	2
	スペーサーパッド	2
	棚ダボ	4
	ネジ	12
	ガラスヒンジ(A)	2
ガラスヒンジ(B)	2	

- テレビなどをスタンプに載せるとき、電源コードをさまじくしないようにする。
 • スタンプを動かすとき、キャスターで電源コードを踏まないようにする。
 コードに傷がついて火災や感電の原因となります。
- 転倒・感電・火災・大けが
 スタンプにテレビを載せた状態で、テレビにぶら下がる
 テレビが転倒して、大けが、死亡などの原因となります。

警告 下記の注意事項を守らないと火災・感電・転倒により死亡や大けがの原因となります。

この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の家具に損害を与えたりすることがあります。
 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・転倒などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

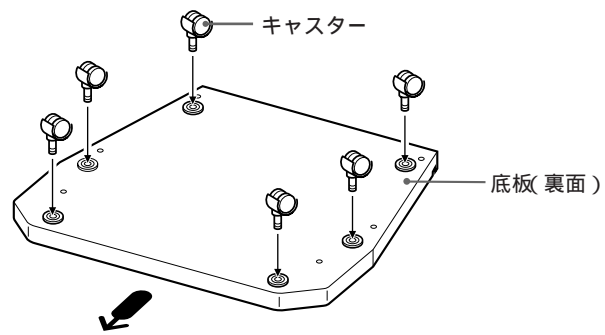
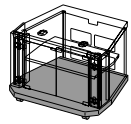
注意 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・転倒などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

警告 ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかしまちがった使い方や誤った取扱いにより、火災・感電・転倒などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために安全のための注意事項を必ずお守りください。

警告 安全のために

1 キャスターを取り付ける。

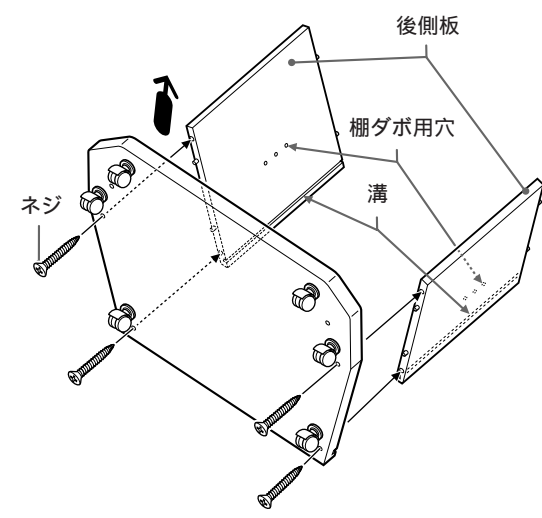
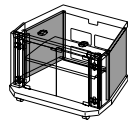
"カチッ"と音がするまで強く差し込んでください。



SU-28F1はキャスター4個です。

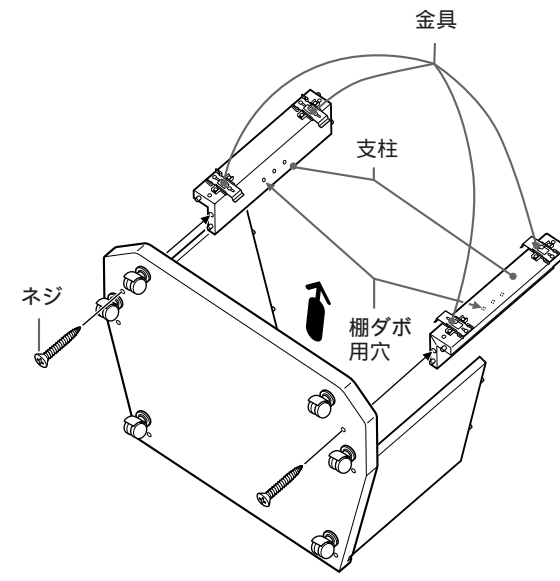
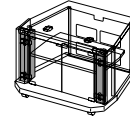
2 後側板を取り付ける。(左右共通です。)

溝が後ろに、棚ダボ用穴が内側になるように注意して組み立ててください。



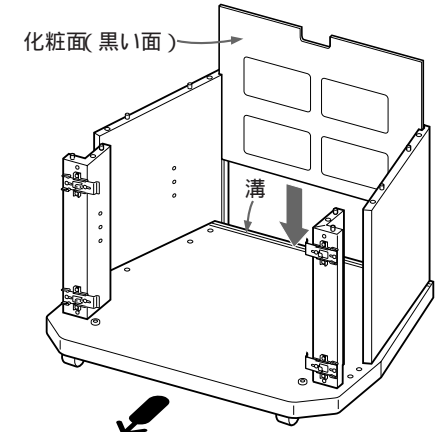
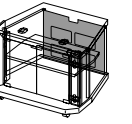
3 支柱を取り付ける。(左右共通です。)

金具が本体正面に、棚ダボ用穴が内側になるように注意して組み立ててください。



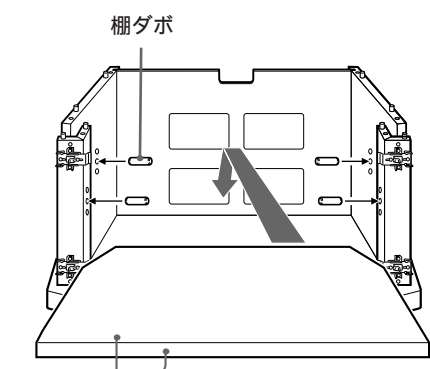
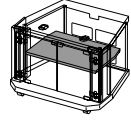
4 裏板を取り付ける。

裏板を底板の溝にきちんと入れてください。



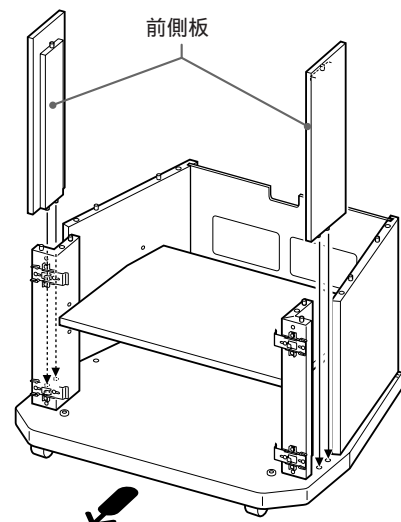
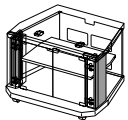
5 棚板を取り付ける。

棚板はガラス扉を取り付けた後でも取り付けられます。



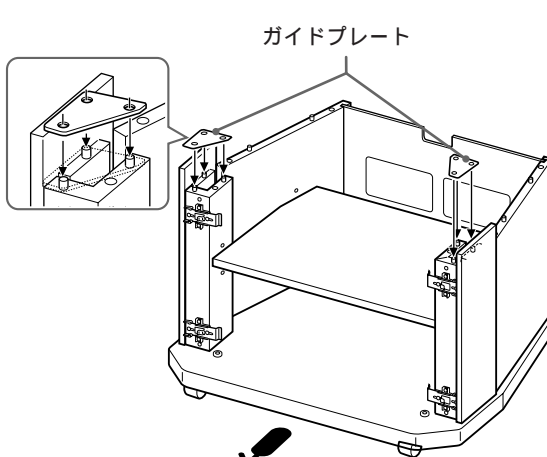
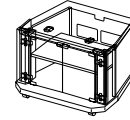
6 前側板を立てる。(左右共通です。)

木ダボが2か所ついている方を下にして、底板の穴に差し込みます。



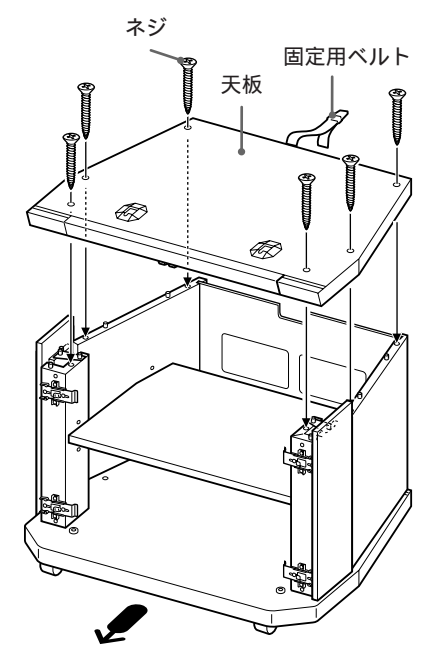
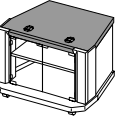
7 ガイドプレートをはめ込む。

支柱と前側板の木ダボにはめ込み、前側板を固定します。



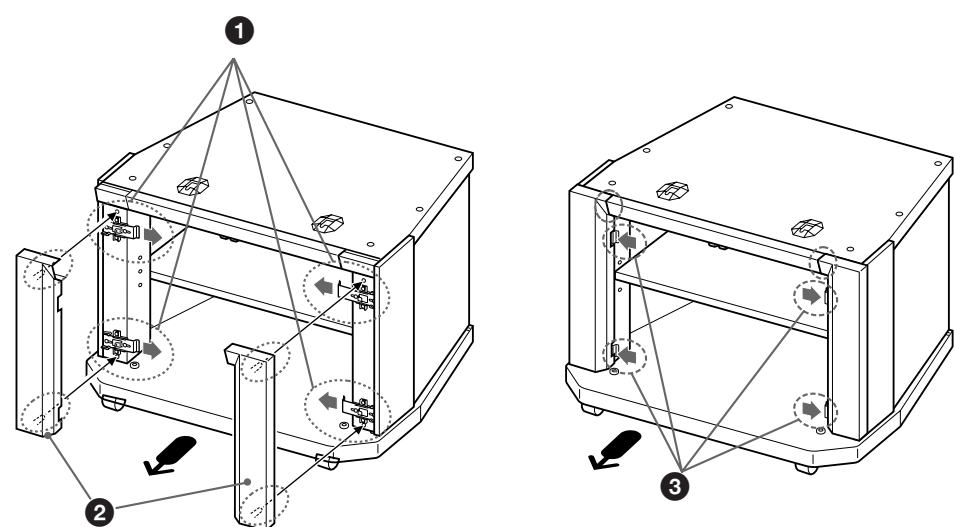
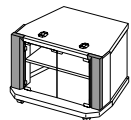
8 天板を取り付ける。

裏板が天板の溝に入っていることを確認してください。

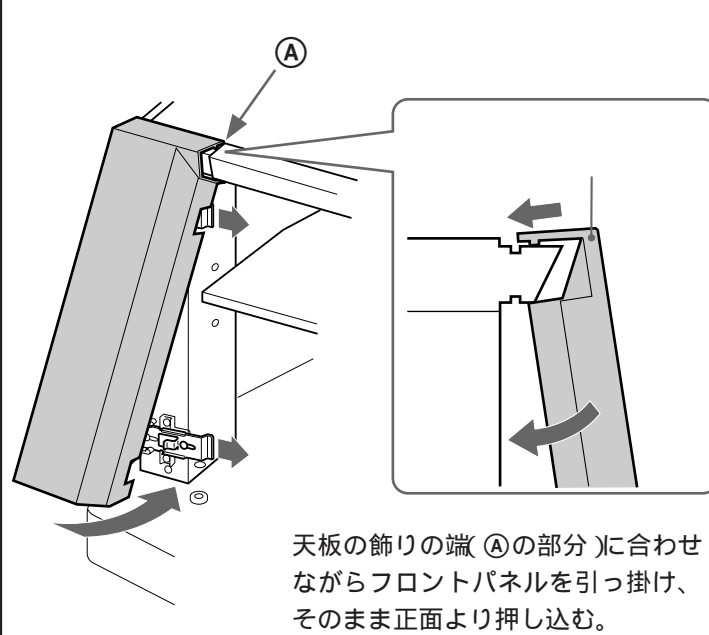


9 フロントパネルを取り付ける。

- 支柱についている金具(4カ所)をいっぱいまで内側に引き出す。金具を引き出した状態にしないとフロントパネルは取り付けられません。
- フロントパネルを取り付ける。
- フロントパネルが完全にはまったことを確認し、金具を外側に押し込み固定する。



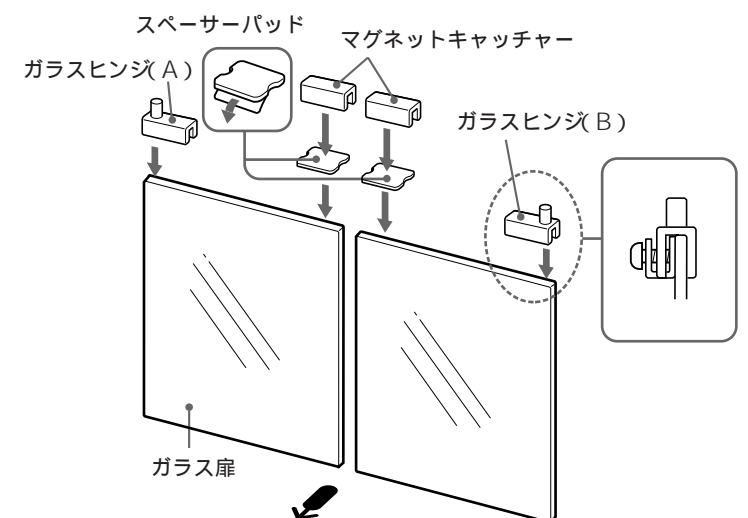
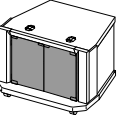
フロントパネルの取り付けかた



天板の飾りの端(Aの部分)に合わせながらフロントパネルを引っ掛け、そのまま正面より押し込む。

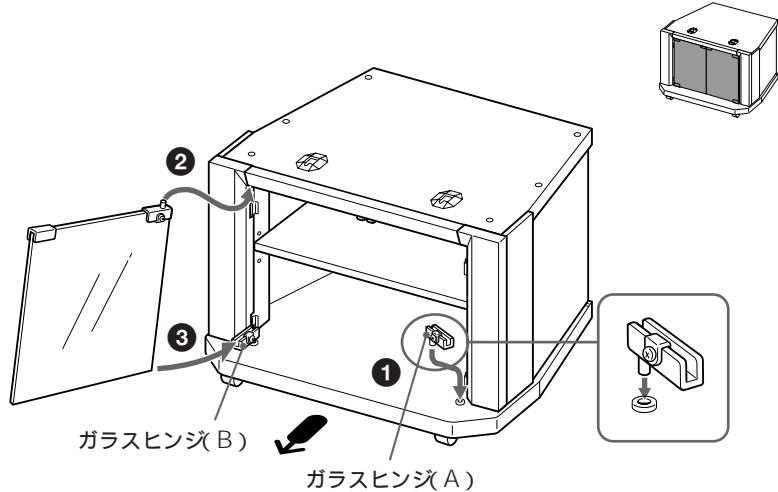
10 ガラス扉を取り付ける前に

- スペーサーパッドをガラス扉に貼り、マグネットキャッチャーをはめ込む。
- ガラスヒンジでガラス扉をはさみ込み、ネジを締める。反対側のガラス扉も同様にする。

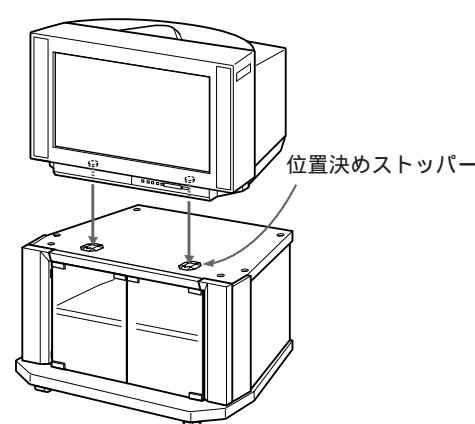


11 ガラス扉を取り付ける。

- ガラスヒンジのネジをゆるめ、ネジが扉の内側になるようにして、底板の穴に差し込む。
- ガラスヒンジのネジが扉の内側になるようにして、天板の穴に差し込む。
- そのまま上に押しつけながら、下のガラスヒンジにガラス扉を差し込み、ネジを締める。



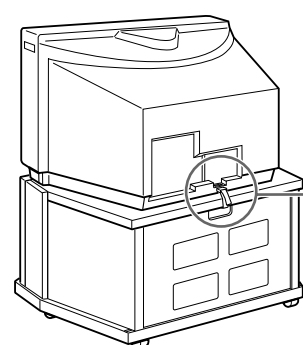
テレビの置きかた



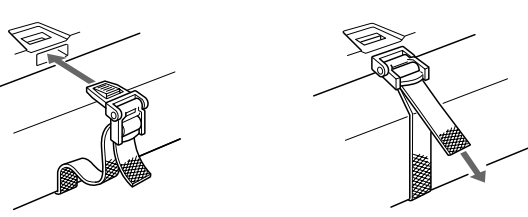
- テレビの足が位置決めストッパーの穴に入るように正しく載せ、ストッパーの上のり上げていないか、確認してください。
- テレビの電源コードを、天板とテレビの間にはさまないように注意してください。コードに傷がついて、火災や感電の原因になります。
- テレビを載せるときは、ガラス扉にテレビが当たらないようにご注意ください。

転倒防止について

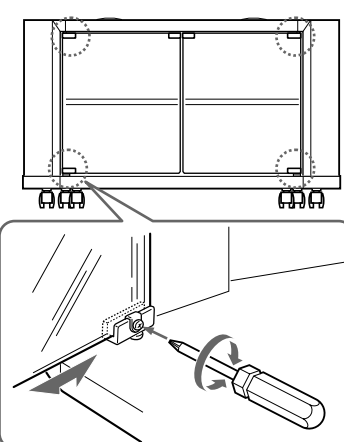
このテレビスタンドには、テレビの転倒を防ぐために固定用ベルトが付いています。テレビを載せたら、必ず固定用ベルトのバックルを差し込んでください。バックルを差し込んだら抜かないかどうか確認してください。



- バックルを差し込む。カチッと音がするまで入れてください。
- ベルトを引く。

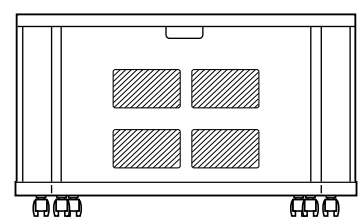


ガラス扉の位置を調整するときには



テレビスタンドを組み立てた後、ガラス扉の位置が正しくない場合は、ヒンジのネジをゆるめて調整してください。

ビデオなどを配線するときには



配線のため、裏板の[斜線部]を抜くことができます。ベニヤ板の場合は、下のような切り込みのつなっている部分をカッターなどで切り取ってください。

